

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.65

令和3年
5月発行

3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
島田観光協会

特集 うえのはらで頑張る人	2
議長あいさつ・議会の構成	4
定例会で決まった主なこと	6
議決結果等一覧表	8
第1回臨時会	9
会期中の審査	10
予算特別委員会	11
一般質問	14
閉会中の活動	18
市長への提言	19
市民の声	20

登山マップを載せたリーフレットも作りました



うえのはらで頑張る人 Vol.18 島田観光協会

上野原にある埋もれた観光資源を、観光やハイキングに訪れている方々に、知ってもらい喜んでもらえる様に、登山道整備や案内標識設置、パンフレットの作成等を行い、賑わうまち、地域づくりに取り組む皆さんにお話を伺いました。



上野原の魅力ある観光資源を
「わたしたちが情報発信」

発足のきっかけは

■ 6年前に市観光協会の会議に参加する機会があり、ハイキングや登山は、上野原、中部丘陵、鶴川流域が主で、島田地域の観光地が知られていない事がわかり、6人の有志で話を始め、16人の会員で準備会を開いて発足しました。



どんな活動をしていますか

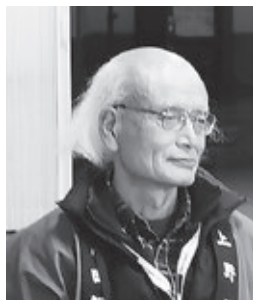
■ 南口駅前に観光案内板の設置や、島田周辺の観光マップ作製、登山道整備、案内標識設置、桜や花桃等

の苗木の植樹、草刈り等幅広い活動を行っています。

■ 島田地区では地域の集まりは運動会しかなく、桜の名勝なので花見を始めました。その後、桂川フェスティバルやアニソンなども企画され、お手伝いしながら地域の集える場所づくりに取り組んでいます。



■ 登山や歩行が安全に出来るよう歩道や案内板の整備、環境整備やゴミ拾いにも力を入れています。



■ 金比羅山に新たなルートも造り、少し先には剣ヶ峰があり、鎖を設置して登山が安全に出来るようにしました。

今後取り組みたいことは

■ 山・川・景観や

与謝野晶子の詩など、魅力があるので、高尾山―相模湖―上野原を一巡できるようなルー



トを考えたいです。

■ 上野原はアユの街で知られているので、奥相模湖としてのアピールもしていきたい。

大変なことはありませんか



です。

■ 神奈川県側の登山道は整備されているが山梨県側は整備がゆき届いてなく、通行止めとなっている場所もありました。道を整備し、登山者が上野原方面に来てくれるようになるのが大変でした。

■ 最近では、登山者が観光案内所に情報を寄せてくれ、気が付かない個所の整備もできました。

■ 最近では、登山者が観光案内所に情報を寄せ

てくれ、気が付かない個所の整備もできました。



■ 会員みんなが楽しく取り組んでい

るので大変と思いませんが、若い方や女性の会員が増えるとありがたい

議会や行政に要望は



■ 旧島田中学校をもっと活用してもらいたい。せめて大型観光バスがウターンできるようにしたい。

■ 春先だけでも相模湖の遊覧船が来られる様にして欲しい。

■ 桂川橋の架け替えのときは、吊り橋など景観を考慮したものにして欲しい。

■ 行政の協力がもっと必要と感じています。特に他県、他市との連携も必要なので情報交換の場を作って欲しい。



取材を終えて

市の魅力発信や地域の活性化に情熱を燃やし、これからの賑わいを熱く語る会員の皆さんの思いを知ることができました。コロナに負けないで今後も活躍することに期待します。



小俣 修議長



尾形幸召副議長

議長就任のあいさつ 議長 小俣 修

議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

上野原市は山梨県内十三市の中で一番人口が少なく、全国の自治体同様、人口減少と少子高齢化に歯止めがかからず、色々な対策を行っているものの効果が出ていない現状に苦慮しております。

このような中に於いて、上野原駅南口の整備により、駅前にも多くの人が行き来するにぎわいを作り出すことができました。談合坂スマートインターチェンジの供用開始により、利便性が格段に向上されました。しかし、新型コロナウイルスの感染予防対策や新しい生活様式への対応が必要となってきています。また、四方津駅バリアフリー化の推進など様々な課題の解決に取り組まなければなりません。

こうした状況の時こそ二元代表制の一翼を担う議決機関として、これらの施策がしっかりと執行されているのかチェックする役割を果たすとともに、市民の声に耳を傾け、その先頭に立たなければならぬと考えています。

このような時期に議長という重責を担うことに、その責任の大きさを痛感しております。市民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。



総務産業常任委員会

尾形幸召 長田喜巳夫 杉本公文 白鳥純雄
 岡部幸喜 ◎東山洋昭 ○山口 薫 尾形重寅

議会の構成



文教厚生常任委員会

山口好昭 川島秀夫 八木一雄 川田好博
遠藤美智子 ◎内田倫弘 ○杉本友栄 小俣 修

議会だより編集常任委員会



内田倫弘 八木一雄 遠藤美智子
白鳥純雄 ◎川田好博 ○山口 薫

議会運営委員会



山口好昭 川島秀夫 杉本友栄
岡部幸喜 ◎長田喜巳夫 ○尾形重寅

まちづくり特別委員会

◎八木一雄 ○遠藤美智子
議長を除く 15 人の議員で構成

議会活性化特別委員会

◎杉本友栄 ○長田喜巳夫 ○東山洋昭
16 人の議員全員で構成

◎は委員長 ○は副委員長



3月定例会

定例会で決まった 主なこと

令和3年第1回定例会が2月25日から3月16日まで20日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	52件
選挙	1件
発議	1件
計	54件

※ 議案名・議決結果等は8ページをご覧ください。

議案第6号 上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

例 改 正

介護保険料の基準額が
月200円引き下げられます

介護保険は3年ごとに見直しが行われますが、介護保険料について、令和3年4月から基準額を月額200円引き下げ、5100円になります。介護保険給付準備基金を2億円取り崩し、引き下げを行うものです。実際の保険料は、所得階層によって異なります。

議案第46号 山梨県東部地域介護認定審査会の共同設置について
議案第47号 山梨県東部地域障害支援区分認定審査会の共同設置について
議案第48号 山梨県東部地域公平委員会共同設置規約の変更について

共 同 設 置

広域連合の解散に伴い必要機関を
共同設置

山梨県東部地域広域連合の解散に伴い、介護認定審査会、障害支援区分認定審査会、公平委員会を都留市、大月市、上野原市、道志村、小菅村及び丹波山村で共同設置するものです。費用の負担割合など必要事項を定めました。広域連合の解散によって、議会費などの経費の削減が図られます。

議案第50号 上野原市旅費等の特例に関する条例制定について
議案第51号 上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について

条 例 制 定

職員の旅費の日当は不支給
市長等の期末手当を減額支給

市の財政状況に合わせ、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間、特別職の職員で非常勤のもの、市長、副市長、教育長及び職員が公務の為に旅行した場合の旅費の日当が規定にかかわらず支給しないと定められました。

また、市長、副市長及び教育長の期末手当を令和3年4月1日より100分の187.5に減額して支給する新たな条例制定です。

議案第8号 上野原市営運動施設条例等の一部を改正する条例制定について

条例改正

近隣市村で運動施設を共同利用

上野原市営運動施設、スポーツプラザ市民プール、秋山温泉施設を大月市、小菅村及び丹波山村に住所を有する者が利用する場合、市内者の料金と同額にするものです。
施行期日 令和3年4月1日

大月市総合体育館・総合グラウンド、多摩源流小菅の湯、フォレストアドベンチャーこすげ、丹波山温泉のめこい湯が市村民料金で利用できることとなります。

議案第40号～第42号 指定管理者の指定について

指定管理

指定管理者の更新

- 森林総合利用施設
令和3年4月1日から3年間、鶴川溪谷平野田
休養村協同組合を指定管理者に指定しました。
- ふるさと長寿館
令和3年4月1日から1年間、クレイン農業協
同組合を指定管理者に指定しました。
- 羽置の里びりゅう館
令和3年4月1日から3年間、特定非営利活動
法人さいはらを指定管理者に指定しました。

議案第9号 令和2年度上野原市一般会計補正予算(第7号)

補正予算

補正総額 9432万7千円の減額

歳入	市税
▲	1160万6千円
歳出	財政調整基金繰入金
▲	5816万3千円
	生活バス維持補助金
	2844万6千円
	個人番号カード関連維持費
	295万9千円
	生活保護扶助費
	1301万3千円

選挙第3号 上野原市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

人事案件

選挙管理委員会委員の選挙

選挙結果は次の通りです。

村松 滝夫
小俣 季廣
阿部 茂信
安藤 隆

発議第1号 議会活性化特別委員会の設置議決の一部改正について

発議

議会活性化特別委員会の設置延長について

市議会の活性化の方策等を調査する中、さらに調査、検討するため「調査期限を本件調査が終了するまで」と改めました。

令和3年第1回定例会議決結果等一覧表

第1回定例会

◆賛否のあった議案（○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者）

議案番号	案 件 名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果		
15	令和3年度上野原市一般会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	●	○	議長	○	●	○	○	○	○	欠	○	可決		
16	令和3年度上野原市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○		○		○	○
17	令和3年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	◎	○	●		○	○	○	○	○	○		○		○	○
21	令和3年度上野原市簡易水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	●		○	○	●	○	○	○		○		○	○

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
2	総務産業	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決
3		上野原市情報公開条例及び上野原市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	
4		上野原市市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について	
5		上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定について	
6	文教厚生	上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	
7		上野原市教員住宅条例の一部を改正する条例制定について	
8		上野原市営運動施設条例等の一部を改正する条例制定について	
9	-	令和2年度上野原市一般会計補正予算（第7号）	
10		令和2年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	
11		令和2年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	
12		令和2年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
13		令和2年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
14		令和2年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	
18	予算特別	令和3年度上野原市介護保険特別会計予算	
19		令和3年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	
20		令和3年度上野原市公共下水道事業特別会計予算	
22		令和3年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	
23		令和3年度上野原市大目財産区特別会計予算	
24		令和3年度上野原市甲東財産区特別会計予算	
25		令和3年度上野原市巖財産区特別会計予算	
26		令和3年度上野原市島田財産区特別会計予算	
27		令和3年度上野原市上野原財産区特別会計予算	
28		令和3年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	
29		令和3年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算	
30		令和3年度上野原市秋山財産区特別会計予算	
31		令和3年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算	
32		令和3年度上野原市病院事業会計予算	
33	-	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
34		上野原市猪丸辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
35		上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
36		上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
37		上野原市飯尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
38		上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

令和3年第1回定例会議決結果等一覧表

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
39	—	上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	可決
40	総務産業	上野原市森林総合利用施設の指定管理者の指定について	
41		上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について	
42		上野原市羽置の里びりゅう館の指定管理者の指定について	
43	—	上野原市秋山財産区管理委員の選任の同意について	同意
44	—	上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任の同意について	
45	総務産業	山梨県東部地域行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会の共同設置について	可決
46	文教	山梨県東部地域介護認定審査会の共同設置について	
47	厚生	山梨県東部地域障害支援区分認定審査会の共同設置について	
48	総務産業	山梨県東部地域公平委員会共同設置規約の変更について	
49	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例改正について	
50		上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	
51		上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	
52		上野原市監査委員の選任の同意について	
53	—	令和2年度一般会計補正予算（第8号）	可決
選挙3	—	上野原市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	当選
発議1	—	議会活性化特別委員会の設置議決の一部改正について	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

令和3年第1回臨時会

財源

- 国庫補助金 1億2930万8千円
- 繰越金 432万5千円

補正予算

- 保健衛生費 1億3363万3千円
 - ・ ワクチン接種体制確保事業費 2729万9千円
- ワクチン接種事業費 2673万6千円
 - ・ 会計年度任用職員の任用に伴う経費 56万3千円
 - ・ 事前準備等に係る経費
- ワクチン接種事業費 1億633万4千円
 - ・ 看護師等報酬 262万9千円
 - ・ 医薬材料費 120万円
 - ・ 集団接種手数料 494万4千円
 - ・ 接種業務委託料 522万8千円

補正予算

1億3千万円を増額

ワクチン接種のための補正予算

第1回臨時会

議案第1号 令和2年度上野原市一般会計補正予算（第6号）

令和3年第1回臨時会が2月1日召集され、会期1日間で開かれました。令和2年度上野原市一般会計補正予算（第6号）が審議され、新型コロナウイルスワクチン接種のための予算が全会一致で可決されました。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巳夫
尾形幸召
岡部幸喜
尾形重寅

2月25日、委員会を開催、付託された案件は、条例制定3件、指定管理者の指定3件、共同設置について1件、規約の変更1件です。

主な質疑、答弁を要約してお伝えします。

議案第40号「森林総合利用施設」と議案第41号「ふるさと長寿館」、議案第42号「羽置の里びりゅう館」の3議案は令和3年3月31日に指定管理契約の満了を迎える施設で、4月1日以降も指定管理者による施設管理を行う必要があるものです。

Q ふるさと長寿館とびりゅう館の指定管理者は入札で選定しないのか。

A びりゅう館は当初から地域の方の運営であり、ふるさと長寿館は指定管理を取り入れた当初から

クレイン農協が指定管理者になっていてという経緯があり、地域の方の要望も勘案しています。

【審査結果】 8案件について、採決した結果、議案第42号を除く7案件は、全会一致で、原案どおり可決、議案第42号は、委員1名が表決を棄権し退席、残りの委員で採決し異議なしで、原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続調査として、四方津駅のバリアフリー化の現状と、化学消防車の稼働状況について調査する予定です。



ふるさと長寿館

文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
小俣 修
川島秀夫
山口好昭

3月1日、委員会を開催し、付託された条例制定4件、審査会の共同設置について2件を審査しました。

議案第5号「上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定について」は医療保健の資格確認がオンライン化されるため「上野原市重度心身障害者医療費助成条例」、「上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」、「上野原子ども医療費助成に関する条例」を改正するものです。

Q 市内医療機関にマイナンバーカード用リーダーの導入状況は。

A 市立病院は導入の準備を進めているとのことですので。

意見 今迄の保険証も使用可能なことを周知して下

さい。

議案第7号「上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について」は解体した教職員住宅の和田団地1、2、3号棟を条例から削除するものです。

Q 教職員住宅の解体で職員の方は大丈夫か、また、解体後用地はどうなるのか。

A ハツ沢の教職員住宅を使用、通い易くなり教職員住宅の需要が減っていました。土地は借地でするので解体後は地権者に返します。

審査の結果、6議案全て全会一致で原案通り可決すべきものと決定しました。また、閉会中の継続調査として、図書館の運営について調査する予定です。

3年度
予算

当初予算の審査を行いました

第1回定例会で、議長を除く15人の議員で構成される予算特別委員会が設置されました。来年、令和4年第1回定例会開会前日までの任期で、委員会付託を省略する以外の当初予算、補正予算の審議にあたります。

委員長に川島秀夫委員、副委員長に八木一雄委員を選出しました。

第1回定例会では、一般会計、16の特別会計及び病院事業会計の当初予算18議案が審議されました。3月3日、5日、8日の3日間、各課からの説明を受け、質疑を行いました。8日の午後は、市長他全幹部職員の出席を求め、総括的な質疑を行いました。3日間で延べ91件の質疑がありました。

今回の当初予算は市長選が執行されたので、ほぼ義務的に必要な予算を中心に編成されました。新市長による新しい政策の予算は、約2億円の規模で、6月定例会に補正予算として提出される予定です。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業特別会計の4議案は異議がありましたので、起立採決の結果、可決すべきものと決まりました。他の14議案は全会一致で可決すべきものと決まりました。

市民生活にかかわりが深い質疑のいくつかを次ページ以降に要約を載せます。



八木一雄副委員長



川島秀夫委員長

令和3年度の予算規模

一般会計

歳入・歳出

101億8730万7千円

前年度比 2.5%減

特別会計（16会計）

歳入・歳出

71億2211万4千円

前年度比 2.4%減

予算特別委員会

委員長	川島 秀夫
副委員長	八木 一雄
委員	内田 倫弘 山口 薫
	白鳥 純雄 遠藤美智子
	川田 好博 東山 洋昭
	杉本 公文 山口 好昭
	長田喜巳夫 杉本 友栄
	尾形 幸召 岡部 幸喜
	尾形 重寅

生活困窮者の支援

- Q** 生活困窮者の支援について、生活保護の活用、就学援助、住宅支援の拡充が必要ではないか。
- A** 国や県の動向も見ながら支援の拡充を図っていきます。経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者には、給食費、学用品費、修学旅行費などの支給をしています。市営住宅入居の相談に応じています。



産後ケア事業

- Q** 直近の利用実績は。
- A** 令和元年度は0人で、令和2年度は2人です。

意見 令和3年度の予算は増額している。宿泊型サービスだけでなく、母子保健事業以外の家事従事や産後の相談対応等、デイサービスやアウトリーチ（訪問支援）の利用などきめ細かい支援が必要です。



笛吹市石和町にある産後ケアセンター

農業振興費

- Q** 農業次世代人材投資資金交付事業の交付条件は。
- A** 独立・自営就農時の年齢が、原則50歳未満の認定新規就農者で、新たに農業経営を開始する方に交付されます。県の実施する農業次世代人材投資事業の準備型か、これに相当する研修を修了していなければなりません。

ふるさと納税

- Q** ふるさと納税額3500万円の根拠は。
- A** 令和2年度は既に3600万円程寄付をいただいております。令和3年度も同様、県産品の返礼品も取入れていくため令和2年度以上の金額を見込んでいますが、骨格予算の段階では前年同額で計上し今後の動きを見ながら、補正予算の中で考えていきます。

地域防災計画の見直し

- Q 地域防災計画の見直しを機会に、コロナ対策や防災の自助、共助、公助のような役割分担を市としてどのように計画の中に盛り込むのか。
- A コロナ対策は、既に計画に感染症対策がありますが今後検討します。自主防災組織は、区長と地域防災リーダー及び住民が協力し、自助・共助・公助の役割等も明確にしていけます。



消防団分団詰所

公設消火栓及び防火水槽

- Q 市内にある公設消火栓と防火水槽は、現在どのくらいの数があって、管理者と管理費はどのようになっているのか。
- A 現在、公設消火栓 755 個、防火水槽 491 個、計 1,246 個あり、管理費は 265 万円で東部地域水道事業企業団が維持管理し、別に、消防署と消防団も保全状態を確認しています。

地域防災リーダーの育成

- Q 地域防災リーダーの育成計画は、どのくらいの人数と時間を予定しているか。また、自主防災組織が自主的に策定することになっている地区防災計画との関連については。
- A 養成人数は 50 人～100 人規模で、60 分 1 単位とし年間 10 単位を予定しています。また、地域防災リーダーは、地区防災組織が行う、計画の策定や訓練の支援を行います。

ゼロカーボンシティ宣言

- Q 昨年、市はゼロカーボンシティ宣言をしているが、温暖化対策等環境問題をどのように具体的に進めようとしているのか。
- A 市は、市民に対し同宣言周知のため、CO₂削減とゴミ減量化のチラシを回覧しています。また、東電と協力して、小水力発電所の適地についても調査を行っています。

学校給食費の公会計化

- Q 公会計化により教員の多忙化が、どのように改善されるか。
- A 当市では令和 4 年度から導入予定。現在、教頭先生が未納者への徴収対応をしているため、主に教頭先生の負担軽減になり、年間約 190 時間の勤務時間の削減につながります。

新型コロナウイルス感染症対策

質問 PCR検査後、陽性反応が出た後の対応は。

答弁 検査後、陽性であった場合は検査を実施した医療機関から保健所に連絡が行き、陽性者に対し、入院調整が行われます。また濃厚接触者の調査や検査も手配します。入院にあたっては症状や病床の空き状況を勘案し、入院先が決められます。なお、現時点で県内においては、自宅で療養することではなく、医療機関や宿泊施設を使用します。

意見 答弁 そのとおりです。陽性反応者となった市民の方には、大変な思いをさせることになりません。体の負担、精神的なケア等についても、できる限りの、サポートをお願いしたい。

他に、区、自治会組織の運営について質問しました。

質問 退院基準は発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後、72時間経過した場合に退院可能であり、無症状陽性者で宿泊施設を利用している場合、検体採取日から10日間経過した時、または採取日から6日経過後、24時間以上の間隔をあげ2回のPCR検査で陰性を確認できれば、退院可能ということ



東山洋昭

サテライトオフィス等整備費補助金の改善を

質問 今後もサテライトオフィスの需要は高まると考えるが、サテライトオフィス関係の事業は考えているか。

答弁 既存の「サテライトオフィス等整備費補助金」及び「移住者在宅ワーク環境整備費補助金」については、令和3年度から総合戦略事業として、総合戦略に掲げる目標達成に向け、引続き実施したいと考えています。また、国の「地方創生テレワーク交付金」が採択されれば、施設の開設を支援すると共に、運営面でもプロモーションやビジネスマッチング等を官民協働で推進できればと考えています。また、市内に企業を呼び込むためには、サテライトオフィス等を民間施設として整備するだけでなく、未利用な公共施設の活用も必要性を感じますので、今後検討していきます。

質問 詳しい内容を。

答弁 公共施設の活用にあたっては、現在、財政経営課で策定中の「上野原市公共施設マネジメント計画」で示される施設ごとの方針に基づく必要があるため、庁内連携を図り具体的に検討していければと考えます。ポストコロナ時代において、サテライトオフィスはテレワークを支える新しいオフィスとして重要です。当市でも首都圏に近接する地の利を活かし、具体的な方策を検討し、より一層の移住・定住の促進や地方創生に取組んでいきたいと考えています。



内田倫弘

一般質問

生活困窮者の支援の強化を



川田好博

質問 市内の雇用状況はどうなっているか。

答弁 ハローワーク大月管内の有効求人倍率は12月に0・84倍と回復傾向にありましたが、1月は0・81倍と横ばいで、まだまだ先行きは不透明です。雇用関係で相談はどうしているか。

質問 国や県の相談窓口は多岐にわたっています。ホームページを利用したり、商工会との連携をとっていききたいと考えています。

質問 商工会は雇用する側だ。労働者側の相談窓口として、県労働委員会、労働局などがあるか。

答弁 市内の労働者や求職中のみならずが簡単に相談の窓口がわかるように工夫をしていきたいと思っています。

質問 まだまだ家計が苦しい世帯も多く存在する。これらの家庭への支援は。

答弁 今後、新型コロナウイルス感



染症の拡大状況及び国の動向を見ながら、さらに有効な支援について考えていきたい。生活困窮者自立支援法に基づいて就労支援や生活支援などの相談に応じています。また、生活保護制度につなげることも考えています。

質問 制度を知らないという方もたくさんいる。もう一つは心理的な負担を感じて申請もしない人もいます。引き続き周知を図ってきたいと思っています。

意見 国保税の子どもの均等割は廃止なり停止することが必要と考える。

持続可能な上野原のため「今」最善の対策を



山口 薫

質問 プラスチックゴミは、川や海に流れても腐らず、それを魚が食べる生態系を狂わし人体にも有害です。燃やせば大量のCO2を発生し温暖化の原因になりSDGs推進に影響が出ています。このゴミの削減や分別、再利用等市の取り組みは。

答弁 ペットボトルと白色トレイは拠点回収していますが、今後は、他のプラスチックゴミも集積所での回収を検討していきます。又、庁舎内のペットボトル削減等、市もプラスチックゴミ削減に取り組んでいきます。

質問 簡易水道事業は、住民管理が原則と聞けが、実態は高齢者が多く携わっており、年齢や災害対応等将来が心配だと言います。東部地域広域水道事業企業団への編入も含め、早期にこの

不安を解消し安定的な水道事業にすべきだと思いが。

答弁 市内には多数の簡易水道等の組合があり、管理等多くの問題を抱えています。市が全ての水道事業を管理する事は大変難しい状況にありますが、個別に相談に応じていきたいと思っています。

質問 災害時に自助・共助が円滑に行えるよう、日頃から施策を講じるのが公助だと思う。地区防災計画の策定や訓練の指導、防災のシステム再構築等、市・署・団・市民一体となつて進めるべきだと思いが。

答弁 来年度は防災リーダーの養成も含め、各研修を定期的開催し、防災行政を更に充実させたいと思っています。



防災リーダー

コロナウイルス対策 ワクチン接種体制は万全か



杉本公文

質問

65歳以上の特定疾患のある方を対象に、3カ月間で500人にPCR検査を実施する事業の状況は。

答弁

市立病院にて、一日最大9名、3月末までに500件の検査体制で予定をしておりますが、3月1日現在、17名の申請があり、2名がキャンセルされたという状況です。

質問

ワクチン接種について、会場と集団・個別接種の体制や医師会、開業医との連携はどんな状況か。

答弁

65歳以上の高齢者への接種は、現在4月中旬以降の見込みで、集団接種を基本としながら個別接種も併用して実施する予定です。接種場所は総合福祉センターふじみでの集団接種の実施を市立病院に依頼しています。また、曜日等の限定にもみじホールを会場に医師会の先生方による集団



接種を実施していただく方法で医師会と協議し、了解がとれています。高齢者施設の入所者等については、嘱託医などによる施設内での個別接種を、また、かかりつけ医で個別接種にご協力いただける医療機関には、個別接種を実施いただけるように、現在、医師会をはじめとして関係機関で詳細に協議を行っているところでです。

他に、江口市長の政治姿勢について、情報通信基盤整備事業について、羽置の里びりゅう館の指定管理について質問しました。

子育て支援の拡充 行政手続きのデジタル化



遠藤美智子

質問

子育て世代の人が当市に望む子育て環境とは「小児救急医療の充実と、産科の設置」。市の見解を問う。

答弁

小児科については常勤医師の確保、産科については全国的に産科医師不足・助産師不足。これまでに医師の人材確保等、鋭意努力を続けてきましたが実現に至っていません。

質問

結婚新生活支援事業は、若者の定住促進の一環として新居の購入や家具、引越しの費用の一部を補助する制度です。当市でも活用を。

答弁

支援事業の内容や市町村の実施状況などを確認する中で、検討していきたいと考えています。

質問

国では今年1月から少子化対策の一つとして、不妊治療に対する助成が大幅に拡充した。当市では受診者の殆どの方が、県外の医療機関に通院している。交通費



の助成について、市の見解を問う。

市の現状、財政負担等、国や県の助成制度の有無などを確認し検討していきます。

今後、行政手続きのデジタル化を推進するうえで、高齢者が公共サービスの活用方法を学ぶスマホ教室の開催を実施してはどうか。

市のデジタル化の推進に併せて、各地区のサロンや通いの場等を活用し、勉強会の開催を考えていきたいと思えます。

他に、新型コロナウイルスワクチン接種体制について質問しました。

教員の多忙化解消について
文化財展示施設の整備に向けて



八木一雄

質問

教員の多忙化解消に向けて
県教育委員会は令和4年度
末までに時間外在校時間が
月80時間（過労死ライン）
以上の教員を「0」にする
目標を設定した。削減に向
けての新たな取り組みは。

答弁

当市の教育委員会の対応と
して新年度の教員の多忙
化対策推進委員会に於いて
改善計画を作成し実行に移
し3年度末に半減、4年度
末に「0」にする事を目標
に取り組みます。その為に
DAYSスクールサポーター
や市教委の教育支援員の充
実。「県統合型校務支援シ
ステム」の活用による実務
の負担軽減や効率化の向
上、併せて給食費の徴収を
学校での取り扱いから市が
一括管理を行う公会計に4
年度から移行するなど教育
現場の負担を大幅に減らす
対策を講じ、目標達成に向
け取り組みます。

質問

文化財恒常的展示施設の整
備に向けての進捗状況は。

答弁

文化財の継承と活用に向け
た「文化財等の保存管理計
画」や県下27市町村の当該
施設の規模、運営状況など
基礎的調査は完了。今後は
令和3年度内に次期教育振
興基本計画の策定に向け施
設のコンセプトやターゲッ
ト、施設機能、展示内容並
びに運営方法など基本構想
を作成していきます。

他に、ワクチン接種の準
備状況や市内小学校の教科
担任制など学校改革につい
て質問しました。



江口英雄市長の
3期12年間を総括して



尾形幸召

質問

3期12年間の市政の実績を
政策をお示しの上述べて下
さい。

答弁

3期12年間を改めて振り返
り総括できる機会をいただ
き感謝申し上げます。
市長としての3期12年とい
うことですが、私にとり
ましては、上野原町立病院
に勤務していた16年間がそ
の土台にあったと改めて感
じております。昭和63年に
上野原町立病院の院長とな
り、様々な改革を進める中
で上野原の方々の温かさ、
優しさ、思いやりに触れ、
数限りない心の充実を感
じ、当時は医療や福祉の分
野で上野原に貢献したいと
努めてきました。

平成21年3月20日に第2代
上野原市長に就任しまし
た。1期目には中学3年生
までのこども医療費助成を
県内ではじめて実施、新上
野原市立病院の開設、2期

目には新歳保育所、第3子
以降の保育料無料化等福祉
施策の実施。3期目には上
野原こども園の開設、上野
原駅南口駅前広場供用開
始、総合福祉センターふじ
みや談合坂スマートイン
ターチェンジの供用開始、
上野原市の発展に欠かさこ
とのできない基盤整備を行
いました。今後、解決すべ
き課題は山積してきます。収
束の見通しがたたない新型
コロナウイルス感染症対策
全国的な人口減少対策等、
市民の皆様には市民力、地
域力をさらに高めていただ
きたく存じます。本当にあ
りがとございました。

平成21年3月20日に第2代
上野原市長に就任しまし
た。1期目には中学3年生
までのこども医療費助成を
県内ではじめて実施、新上
野原市立病院の開設、2期



文教厚生常任委員会

委員長 藤美智子
副委員長 八木一雄
委員 内田倫弘
川田好博
川島秀夫
山口好昭
長田喜巳夫
尾形幸召

令和2年第4回定例会で議決された閉会中の継続調査として、12月17日に「ごみの減量化について」と「学童保育の運営状況について」調査を行いました。

のかぜのこクラブについては、次のような意見が出されました。

- 委託先である上野原学園に、積極的に指導員の確保をするよう求めるべき。
- トイレについて、不便を生じているようなので対策が必要である。
- 実際に働いている指導員の意見をもっと聞く必要がある。

「ごみの減量化について」は、一般廃棄物処理の手数料を徴収する家庭ごみ有料化制度の導入に関しては、原価や販売手数料との兼ね合いや、市民アンケート等を踏まえて検討を進めるとのことです。

以上の意見と2月24日に提出した「文教厚生常任委員会視察調査に伴う意見」を踏まえ、今後、よりよい在り方を模索し、改善すべき所は早急の改善を要望します。

委員からは、ごみの有料化にあたっては最終的に市民の負担がどのくらいになるのかを含め、市民が納得する説明をすべきであり、市民アンケートの内容を反映させた提案をすべきである等の意見が出されました。

次に「学童保育の運営状況について」、「コモコモクラブ、かぜのこクラブの2か所に伺いました。特に、昨年12月に完成したばかり



コモコモクラブ(西小)

議会活性化特別委員会

委員長 杉本友栄
副委員長 長田喜巳夫
東山洋昭
委員 他 13名

議会活性化特別委員会では、2年間にわたり、市議会の組織の在り方や議会運営の活性化・効率化及び透明性向上の方策を調査・検討してきました。

勢を見極めながら議論を深めていく必要があり、また、「議員報酬」については、県下で最も低水準ではあるが、引き上げを検討する際は、確固たる根拠を調査する必要

があるということになりました。検討項目のうち、「議員全員による予算決算の審査」及び「意見交換会の開催」については、実施することができました。

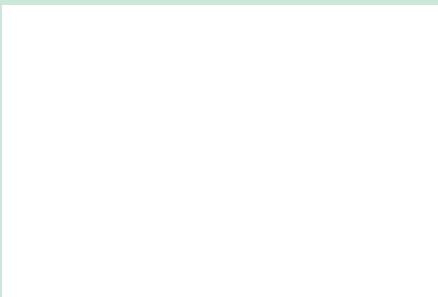
当委員会は、議会を活性化する上で、今後も最善の方法を調査、研究していく必要があると判断し、令和3年第1回定例会において、調査期間を延長し更なる推進を図っていくことになりました。

「議場でのタブレット端末の導入」及び「会議のインターネット配信」については、急速に進むデジタル化時代に対応するため、議場の設備の老朽化問題と併せて取り組んでいきます。

「議会基本条例の制定」については、議会運営を行う上で、規範となる条例をつくるべきという意見が多数だされ、今後制定していく方針が示されました。

「議員定数」については、人口減少が進む中、現状維持と削減の両意見が拮抗することとなり、情

況



提言



市議会から市長への提言

2月24日、今年度三回目となる「新型コロナウイルス感染症対策に関する提言」を市議会から江口市長に提出しました。

令和3年2月24日

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言について

記

1 地域経済の振興策

・経済的落込みが予想される市内事業者の実態を把握し、支援策を検討すること。

・市内消費を活性化し、地元商店や飲食店を応援するための新たな商品券、出張サービス券、乗り物券の発行を検討すること。

2 医療体制の充実化

・医療・介護従事者の定期的なPCR検査体制が確立されること。

3 個人への支援策

・子育て世帯への教育費やひとり親世帯への生活支援を検討すること。

・高齢者や交通弱者等がワクチン接種を受けられるよう、適切な方法を検討すること。

4 その他

・新型コロナウイルス感染症に関する総合窓口の体制を充実させ、市民への周知徹底を図ること。

以上

文教厚生常任委員会
視察調査に伴う意見

文教厚生常任委員会の閉会中の審査の中で、ごみ減量化と放課後健全育成事業(学童保育)について、次の項目の対応を当局に要請しました。

■ ごみの減量化について

- ① ごみ処理費の削減の基本方針と具体策を検討すること。
- ② ごみ排出量が多い原因を検証し、市の制度の周知を図ること。
- ③ ごみ資源化の方法等の提示や組織など必要な手立てを講ずること。

- ④ 住民説明会等を早急に実施すること。
- ⑤ 家庭ごみの有料化は、直接処理費のためでないことを明示すること。

■ 放課後健全育成事業の改善について

- ① トイレの数など改善を図ること。
- ② 保育時間の延長を検討すること。
- ③ 指導員の処遇について、近隣施設と比較するなど、改善を図ること。
- ④ 指導員の募集・採用など指導員が安定して確保できるよう努めること。
- ⑤ 施設職員や保護者からの要望を尊重し、諸課題の改善に努めること。

地域の文化を継承すること

今、少しばかり注目の場所があります。朱に彩られた小さな社です。私の住む塚場地区に鎮座しております。

かつて永きに渡り流行を繰り返し、人々に恐れられた痘瘡（痘瘡、天然痘）ウイルスとの戦いから生まれた社です。感染の恐怖と対峙した先人は神の力で克服しようとし、その祈りの内から痘瘡神が祭られ痘瘡神社が建立されました。

新型コロナウイルス感染症との戦いの最中、誰もが生活様式の変更を余儀なくされ、曖昧模糊とした日常で心に救いの手を求めています。こんな折、昔の人が艱難辛苦に耐えて残してくれたこの社に感謝をささげることで心の安らぎを覚えるのです。守り神として伝承されている文化遺産をたゆみなく後世に継承すべく地区民こぞって保存に努めています。

機会を見て訪れて、この遺産に接し先人を偲んで下さい。



痘瘡神社奉賛会会長
渡邊英治さん

6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	6/1	2	3	4	5
			本会議 (初日)	議案調査	議案調査	
			傍聴可			
6	7	8	9	10	11	12
	委員会 予算特別	議案調査	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	議案調査	
13	14	15	16	17	18	19
	議案調査	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 予備日	本会議 (最終日)	
		傍聴可	傍聴可	傍聴可	傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



編集後記

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、市や自治会等では未だ従来の行事は中止のままで、地域の交流の場は減る一方です。孤立する人は益々増加し、特に高齢者の健康に深刻な影響を与えています。

今後は、感染対策を講じながら徐々に人と触れ合う機会を作ることも必要なのでは…。と思うのは私だけでしょうか。

市議会として、これまで3回にわたり「新型コロナウイルス感染症対策に関する提言」を市長に提出してきました。今後も市民の安全と安心な生活を守るため、議会としての役割を果たしていきたいと思います。是非、市民の皆さまの声を市議会へお寄せください。(遠藤)

議会だより編集常任委員会

- 委員長 川田 好博
- 副委員長 山口 薫
- 委員 内田 倫弘
- 委員 八木 一雄
- 委員 白鳥 純雄
- 委員 遠藤美智子

